

平成 28 年度事業系一般廃棄物管理責任者研修会について

本研修会は、延床面積 3000 平方メートル以上または一般廃棄物を月 5 トン以上排出する多量排出事業所の一般廃棄物管理責任者を対象に実施しています。平成 28 年度は、以下のとおり実施しました。

開催日時 平成 28 年(2016 年)9 月 6 日(火曜)14 時～16 時 20 分

開催場所 豊中市立 eMIRAIE 環境交流センター大会議室

テーマ 『紙はごみじゃない！

～古紙リサイクルによるごみの減量とコストの削減～ 』

講師 公益財団法人 古紙再生促進センター理事 小六 信和 氏

参加者の声(研修会後のアンケートより)

- ・非常にわかりやすい説明で来てよかったです。
- ・雑がみについて意識がかわりました。
- ・古紙分別の理由が明確にわかった。
- ・雑がみからハガキをつくる実演では、何となく紙として固まると予想ができましたが、「水素結合」でノリが無くても固まることを知ることができて目からウロコでした。
- ・改めて古紙リサイクルの重要性を認識できました。会社に限らず家庭でも実践していきたい。
- ・分別の方法、理由が明確になりましたので、紙リサイクルを進めたいと思います。
- ・リサイクルを呼びかける側として、改めて古紙リサイクルをする意義を確認でき、モチベーションの向上になりました。
- ・新しい知識が増え、良い内容の講演でした。ネットで何でも知りえる時代ではありますが、こちらからのアクセスがないと情報は出てこないのも、このような受け身である講演はプラスアルファの知識が得られるので大変良い機会でした。
- ・ごみと紙の分別はやっているが、なぜするのかという意識は徹底できていない、今日のお話でなぜ、がよく理解できました。
- ・古紙 50kg リサイクルすると成木が 1 本助かる、たった牛乳パック 6 枚で 55m のトイレトペーパー 1 巻ができると聞くと、少しの努力で大きな成果が得られることに驚きました。
- ・実演を交えてわかりやすく、退屈させられない内容でした。
- ・紙すきの実験をまじえての講演はとても楽しく、自分の業務に生かせることもたくさんあり、とても有意義な研修会でした。

